

2017 年映像情報メディア学会年次大会

2017 ITE Annual Convention Program

プ ロ グ ラ ム

2017年8月30日～9月1日

30 Aug. - 1 Sep. 2017

東京理科大学 葛飾キャンパス

Tokyo University of Science Katsushika Campus

~ x E ~

映像情報メディア学会 2017年 年次大会開催概要

会 期 2017年8月30日(水)・31日(木), 9月1日(金)
会 場 東京理科大学 葛飾キャンパス 〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1 TEL: 03-5876-1717 (代)

特別企画 (1) 放送, コンテンツ制作におけるIT活用の進化と未来予測
(2) SET (ブラジルテレビ放送技術協会) 特別講演
(3) KIBME(The Korean Institute of Broadcast and Media Engineers)招待講演
(4) フェロー記念講演会
(5) ここまできた撮像デバイス! 超高精細, 超高感度, 超高速 (関連デモあり)
(6) IoT時代を先取る日本のエレクトロニクス産業の復活に向けて～センサ技術を中心として～
(7) 論文・国際学会Acceptへの道～レビューへの対応例～

公開講演会【無料】 映像情報メディアと情報セキュリティ

デモ展示 4K・8K試験放送受信公開 NHKスーパーハイビジョン

一般講演(応募講演) 146件 36部門

大会参加費

《講演参加費》 *会 員 12,000円 会 員 外 24,000円
*学生会員 4,000円 会員外学生 7,000円
フレッシュパーソン講演(学生) 2,200円

《聴講参加費》 [予稿集付き]

(事前予約) *会 員 10,000円 会 員 外 14,000円
エグゼクティブ会員 7,000円
*学生会員 1,000円 会員外学生 2,000円
(当 日) *会 員 11,000円 会 員 外 15,000円
エグゼクティブ会員 8,000円
*学生会員 1,500円 会員外学生 2,500円
*電気学会、電子情報通信学会、照明学会、情報処理学会、IEEEの個人会員の方は会員価格となります。

総合受付[講義棟3階廊下に設置]

大会参加者は、総合受付で署名のうえ、大会プログラム、参加章をお受け取り下さい。
参加章は必ず記名のうえ、首にお下げ下さい。

懇親会 2017年8月31日(木) 17時50分～

東京理科大学大学 葛飾キャンパス 管理棟1階 学生食堂

会 費 一般3,000円 学生1,000円 受 付 懇親会会場入口で行います。

実行委員会事務局

映像情報メディア学会事務局

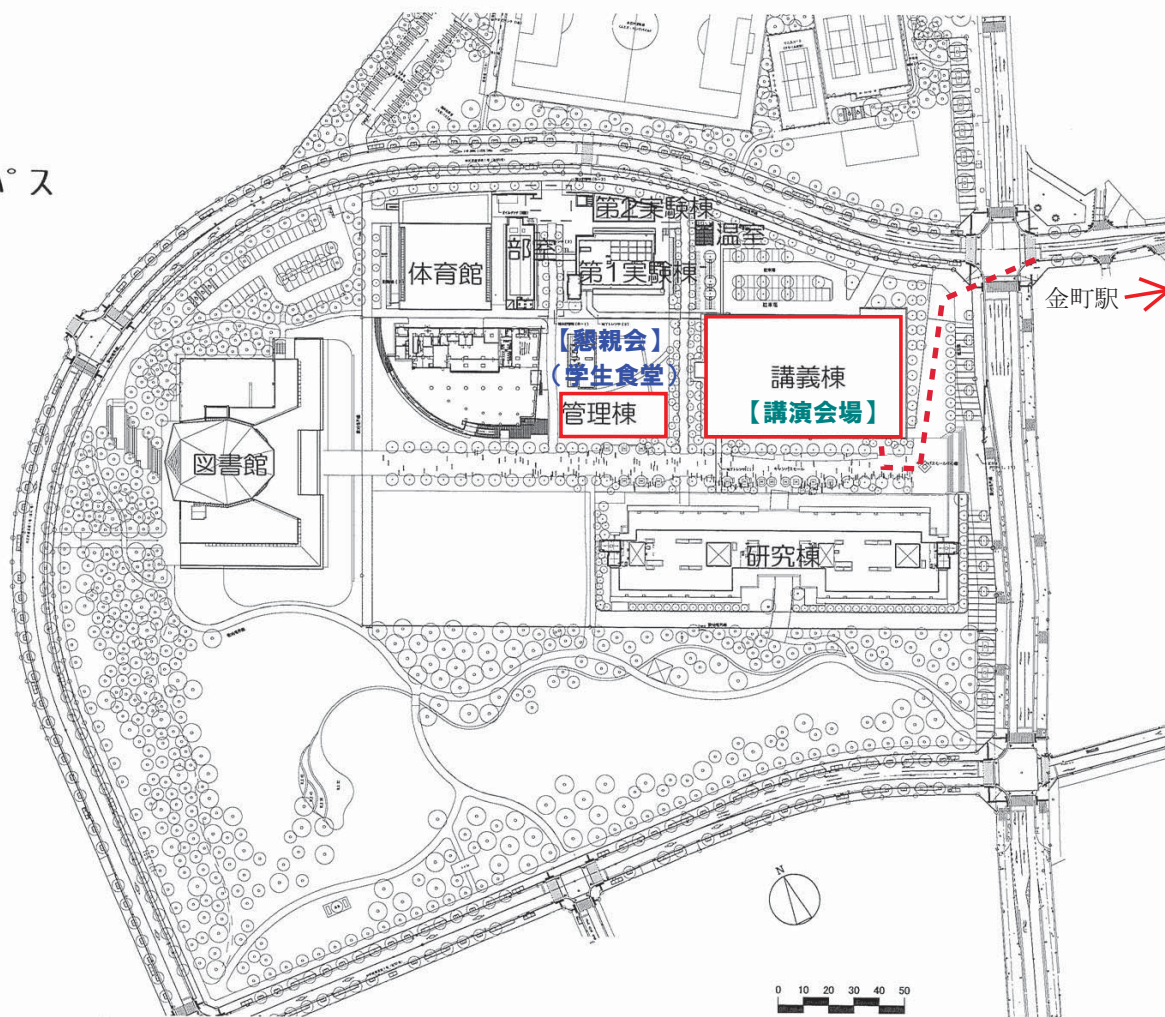
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館403号室

TEL. 03-3432-4677 FAX. 03-3432-4675 E-mail: gyoji@ite.or.jp

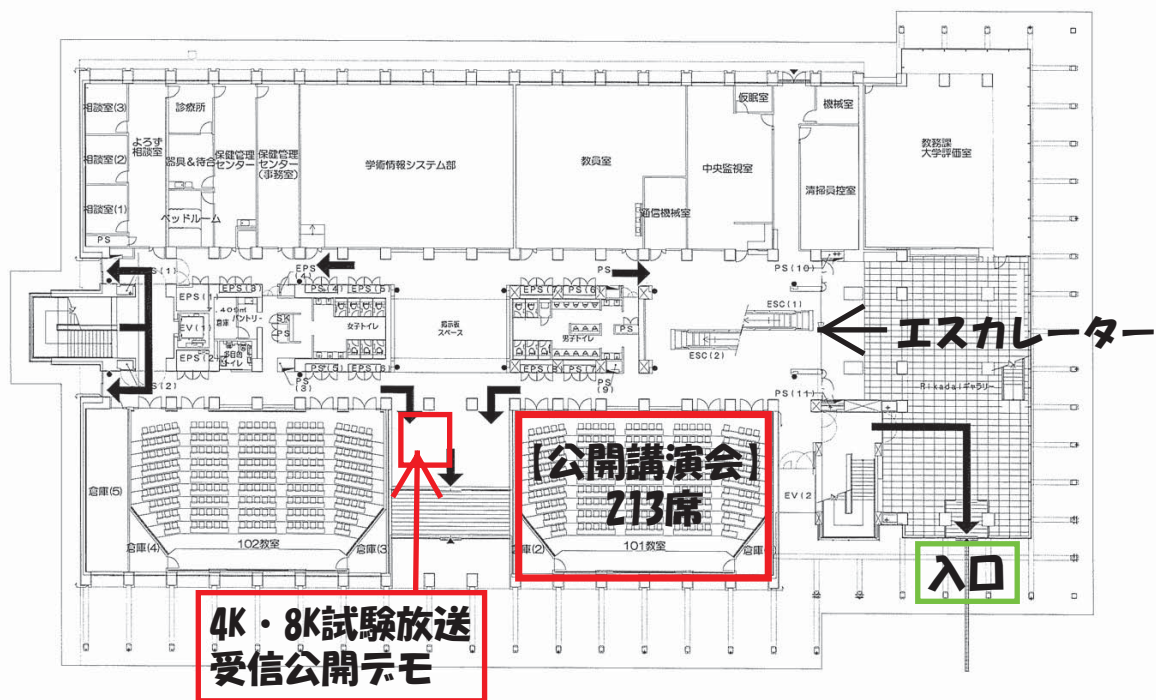
大会期間中連絡先

2015年年次大会 大会本部 TEL. 090-4529-4757

葛飾キャンパス

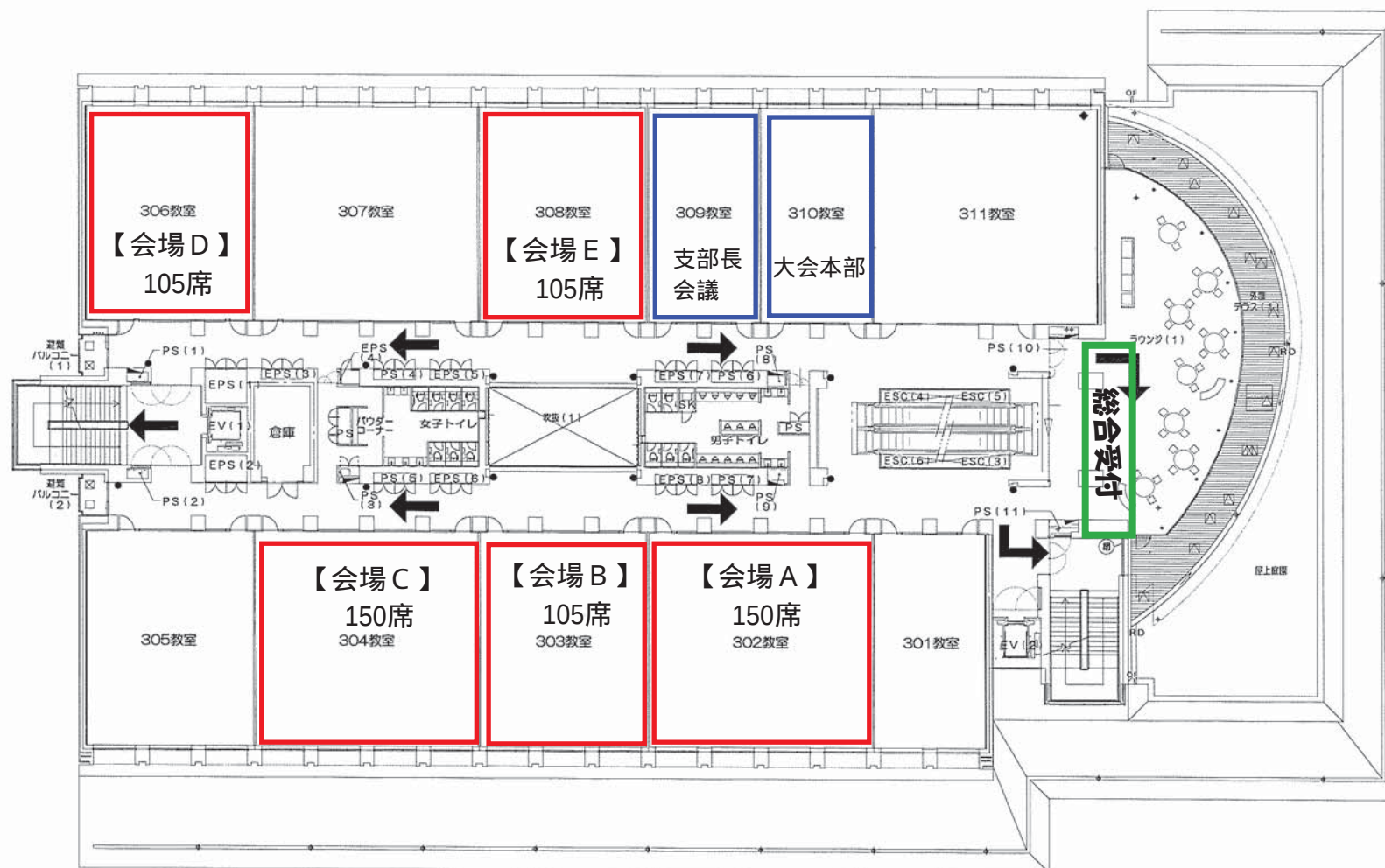


講義棟

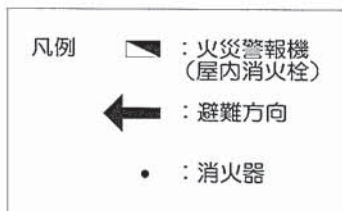


1階PLAN 1:400

- 凡例
- : 火災警報機 (屋内消火栓)
 - ← : 避難方向
 - : 消火器



3階PLAN 1:400



セッション配置

★セッションの開始時間、終了時間は詳細プログラムでご確認ください。

8月30日（水）

時間	会場A 302 教室	会場B 303 教室	会場C 304 教室	会場D 306 教室
1 09:00-10:20	---	メディア処理 基礎 1 [11B] (p.5)	放送方式 1 [11C] (p.6)	---
休憩				
2 10:40-12:00	ストレージ [12A] (p.6)	メディア処理 基礎 2 [12B] (p.6)	放送方式 2 [12C] (p.6)	---
昼食 12:00-13:00				
3 13:00-14:40	【特別企画 1】 放送・コンテンツ 制作における IT 活 用の進化と未来予 測 (p.6) 13:15-15:30	メディア処理 基礎 3 [13B] (p.7)	放送方式 3 [13C] (p.7)	スポーツ 情報処理 1 [13D] (p.7)
休憩				
4 15:00-16:40		メディア処理 基礎 4 [14B] (p.8)	放送方式 4 [14C] (p.8)	スポーツ 情報処理 2 [14D] (p.8)

8月31日（木）

時間	会場A 302 教室	会場B 303 教室	会場C 304 教室	会場D 306 教室	会場E 308 教室
1 09:00-10:20	【特別企画 2】 SET 特別講演 (p.8)	画像符号化関連 1 [21B] (p.9)	CG1 [21C] (p.9)	---	無線・光伝送 1 [21E] (p.9)
休憩					
2 10:40-12:00	【特別企画 3】 KIBME 招待講演 (p.9)	画像符号化関連 2 [22B] (p.9)	CG2 [22C] (p.9)	放送現業 1 [22D] (p.10)	無線・光伝送 2 [22E] (p.10)
昼食 12:00-13:00					
3 13:00-14:40	【特別企画 4】 フェロー記念 講演会 (p.10)	---	---	放送現業 2 [23D] (p.10)	無線・光伝送 3 [23E] (p.11)
休憩					
4 15:00-17:40	【公開講演会】(聴講無料・一般公開) 映像情報メディアと情報セキュリティ 会場 101 教室(1 階) (p.11)				
17:50-19:10	【懇親会】 会場 学生食堂(管理棟) 会費 一般 3,000 円 学生 1,000 円 受付 懇親会会場入口				

9月1日(金)

時間	会場A 302 教室	会場B 303 教室	会場C 304 教室	会場D 306 教室	会場E 308 教室
1 09:00-10:20	センシング 1 [31A] (p.12)	メディア処理 応用 1 [31B] (p.12)	ディスプレイ 1 [31C] (p.12)	ヒューマンインフォ メーション 1 [31D] (p.12)	無線・光伝送 4 [31E] (p.12)
休憩	【特別企画 5】				
2 10:40-12:00	ここまできた撮像 デバイス！超高精 細，超高感度，超 高速度 (p.12) 10:20-12:00	メディア処理 応用 2 [32B] (p.13)	ディスプレイ 2 [32C] (p.13)	ヒューマンインフォ メーション 2 [32D] (p.13)	無線・光伝送 5 [32E] (p.13)
昼食 12:00-13:00	(関連デモあり)				
3 13:00-14:40	センシング 2 [33A] (p.14)	コンピュータ ビジョン [33B] (p.14)	【特別企画 6】 IoT 時代を先取る 日本のエレクトロ ニクス産業の復活 に向けて ～センサ技術を中 心として～ 13:00-17:10 (p.14)	ヒューマンインフォ メーション 3 [招待講演あり] [33D] (p.15)	放送現業 3 [33E] (p.15)
休憩					
4 15:00-16:40	【特別企画 7】 論文・国際学会 Accept への道 ～レビューへの対 応例～ (p.15)	計測技術 映像表現 [34B] (p.16)		立体映像技術 [34D] (p.16)	放送現業 4 [34E] (p.16)

★4K・8K 試験放送受信公開デモ 場所：講義棟 1F 正面入口ロビー 大会期間中実施（3 日間）

詳細プログラム

1 件 20 分（講演 15 分＋質疑応答 4 分＋交代および次の発表紹介 1 分）

○印は登壇者

会場	日時	セッション名 [セッション番号]	座長
----	----	------------------	----

8月30日(水) 1 限目

会場 B	8/30(水) 09:00-10:20	メディア処理 基礎 1 [11B]	座長：望月貴裕 (NHK)
11B-1	ラインアレイスピーカを用いた 22.2 マルチチャネル音響のバーチャル再生装置の開発 ○伊藤敦郎・松井健太郎・小野一穂 (NHK)，服部永雄・末永健明・岩内謙一 (シャープ)		
11B-2	偏相関係数を用いた教師なし人物同定手法の検討 ○高木基希・島田 裕・谷口行信 (東京理科大)		
11B-3	A Periocular Recognition Algorithm Using Phase-Based Image Matching and Its Performance Evaluation ○Luis R. MARVAL-PEREZ・Koichi ITO・Takafumi AOKI (Tohoku Univ.)		
11B-4	複数チャネル間のスペクトル変形に基づく音場拡大 ○堀内俊治・新井田統 (KDDI 総合研)		

会場C	8/30(水) 09:00-10:20	放送方式 1 [11C]	座長：杉山賢二（成蹊大）
11C-1	熊本・人吉地区における偏波 MIMO・超多値 OFDM 伝送実験 ～ 多地点測定による所要電界強度の測定 ～ ○佐藤明彦・朝倉慎悟・薮 拓也・白井規之（NHK）、齋藤 進（NHK 名古屋）、岡野正寛・土田健一（NHK）		
11C-2	熊本・人吉地区における 8K スーパーハイビジョンの SFN 地上伝送実験 ○白井規之・佐藤明彦・朝倉慎悟・竹内知明・中村円香・村山研一・岡野正寛・井口和久・三須俊枝・松尾康孝・岩村俊輔・北島 周・土田健一（NHK）		
11C-3	広帯域地上放送システムの一検討 ○佐藤明彦・薮 拓也・白井規之・岡野正寛・村山研一・中原俊二（NHK）		
11C-4	メディア統合プラットフォームにおけるリンク生成手法・記述法の検討 ○田口周平・遠藤大礎・竹内真也・藤澤和也・加井謙二郎（NHK）		

8月30日(水) 2 限目

会場A	8/30(水) 11:00-12:00	ストレージ [12A]	座長：竹下伸夫（三菱電機）
12A-1	ホログラムメモリーにおける差分コード最適化(II) ～ 誤り訂正特性の向上 ～ ○石井紀彦・片野祐太郎・室井哲彦・木下延博（NHK）		
12A-2	ロールオフフィルタによるホログラムメモリーの SN 比改善 ○片野祐太郎・室井哲彦・木下延博・石井紀彦（NHK）		
12A-3	局所磁界を利用した磁壁電流駆動のシミュレーション ○川那真弓・奥田光伸・宮本泰敬・石井紀彦（NHK）		

会場B	8/30(水) 10:40-12:00	メディア処理 基礎 2 [12B]	座長：望月貴裕（NHK）
12B-1	動画像 DFT 係数の二成分混合型球対称ガウス分布空間におけるクラスタリング ○齊藤隆弘・小松 隆（神奈川大）		
12B-2	動画像の平均値分離型三次元 ST-DFT 係数の確率分布モデルパラメータの推定 ○小松 隆・齊藤隆弘（神奈川大）		
12B-3	全方位画像からの最適構図画像生成 ○田中 潮・原 健二・浦浜喜一・井上光平（九大）		
12B-4	重合格子を用いた全天周画像の顕著性マップ ○岡崎大暉・原 健二・井上光平・浦浜喜一（九大）		

会場C	8/30(水) 10:40-12:00	放送方式 2 [12C]	座長：三木圭輔（TBS テレビ）
12C-1	自動車向けサービスにおける番組関連データ活用方法の検討 ○小川展夢・山村千草（NHK）、澤田枝里香・近藤真之（デンソー）、藤沢 寛（NHK）		
12C-2	テレビとスマートフォンにおける動画配信サービスの利用実態調査とキャスト機能のニーズ分析 ○大亦寿之・池尾誠哉・藤沢 寛・上原道宏（NHK）		
12C-3	配信サービスの混雑状況に応じたビットレート制御によるライブ動画配信システムの動作検証 ○黒住正顕・田中 壮・西村 敏・山本正男（NHK）		
12C-4	12GHz 帯衛星中継器特性による非線形歪および等化性能を考慮した 64APSK 符号化変調の検討 ○小泉雄貴・鈴木陽一・小島政明・筋誠 久・田中祥次（NHK）		

8月30日(水) 3 限目

会場A	8/30(水) 13:15-15:30	【特別企画 1】放送、コンテンツ制作における IT 活用の進化と未来予測（予稿なし）
放送局及びメディア業界における IT 活用が進んでいる。 その状況と事例、及び、今後の方向性に関して紹介し、IT 活用に関する議論の一助としたい。		
司会：西澤伸一(フジテレビジョン)		
13:15～13:30		
S1-1 放送設備概要と IT へのシフト 西澤伸一（㈱フジテレビジョン）		
13:30～14:10		
S1-2 AWS で実現するクラウドメディアワークフローと最新事例 北迫清訓 氏（アマゾンウェブサービスジャパン㈱）		
ここ数年で映像業界におけるクラウド活用が加速化してきている。映像の制作から送信までのワークフローを 8 つのワークロードに分類し、各ワークロードにおける AWS サービスの活用および最新の事例を紹介しながら、クラウドの今を体感いただく。		

14:10-14:50
S1-3 AI (Artificial Intelligence) for Media 畠山大有 氏 (日本マイクロソフト株)
AI をニュースで耳にしない日は無いくらい、日常には AI サービスがあふれ始めました。かつてと異なり、映像/写真/音声/言語の処理精度が飛躍的に向上しました。このセッションでは、Microsoft が提供している最新の AI テクノロジーである、Cognitive Service と "Big Cognition" をデモを中心に紹介し、コンテンツ制作およびマルチチャネル展開の全体を考えた Platform について考えていきます。
14:50-15:30
S1-4 Google スケールで実現する、クラウドでの配信基盤やコンテンツ制作 (予稿なし) 浅野翔太 氏 (Google Cloud Japan 合同会社)
企業が放送局になる時代においてインターネット配信ではスケーラビリティが重要視されています。Google がどのようなアプローチでそれを実現し、Google Cloud Platform 上において実際にどのように構築出来るのかを事例を交えてご紹介します。

会場B	8/30(水) 13:00-14:40	メディア処理 基礎 3 [13B]	座長：齊藤隆弘 (神奈川大)
13B-1	複雑な背景を持つ動画像に対応したシームカービング ○北村憲吾・村木祐太・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)		
13B-2	輝度勾配の時間不変性も考慮したオプティカルフロー推定の検討 ○山内晶洋・石川知一・亀田裕介・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大)		
13B-3	高解像度画像におけるコンクリートクラック検出の一手法 ○河原純也・村木祐太・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)		
13B-4	異なる照明下の三刺激値からの分光反射率の推定 ○敷田麻依・井上光平・原 健二・浦浜喜一 (九大)		
13B-5	着衣領域の認識に基づく近赤外線を含むカラー画像の色調補正 ○宮尾 恵・島田 裕・谷口行信 (東京理科大)		

会場C	8/30(水) 13:00-14:40	放送方式 3 [13C]	座長：竹内知明 (NHK)
13C-1	次世代地上デジタル放送における伝送路推定方式の一検討 ○布施卓哉・大坪弘明・中村 聡・伊丹 誠 (東京理科大)		
13C-2	TMCC パリティを用いた ISDB-T 自動起動信号の低消費電力受信方法 ○高橋 賢 (広島市大)		
13C-3	2K/4K をシームレスに切り替える MPEG-DASH プレイヤーを用いたハイブリットキャスト環境における検証報告 ○小池 中・大山 悟 (関西テレビ)		
13C-4	日本の地デジ方式 ISDB-T による「HDR 4K+HD+1 セグ」3 階層生放送実験 ○小野浩一 (関西テレビ)		
13C-5	ハイレゾ音響信号対応 MPEG-4 ALS ハードウェアエンコーダの試作 ○中嶋淳一・長谷川馨亮・野口賢一・森住俊美・兼清知之 (NTT)		

会場D	8/30(水) 13:20-14:40	スポーツ情報処理 1 [13D]	座長：角田 貢 (日体大)
13D-1	一般ランナー支援のためのランニングフォーム映像分析 ○黒川恵輔・鹿喰善明 (明治大)		
13D-2	サッカー選手の顔向き推定システムの試作と番組制作への応用 ○横澤真介・高橋正樹・三ッ峰秀樹・三科智之 (NHK)		
13D-3	ボロノイ図に基づく 3 次元優勢領域によるパスコース評価について ○横井真也・浅見莉絵子・石川孝明・渡辺 裕 (早大)		
13D-4	関節角度情報を用いた歩きスマホ認識 ○加藤君丸・渡辺 裕 (早大)		

8月30日(水) 4 限目

会場A	8/30(水) 13:15-16:25	【特別企画 1】放送、コンテンツ制作における IT 活用の進化と未来予測
詳細は p.6 をご覧ください。		

会場B	8/30(水) 15:00-17:00	メディア処理 基礎 4 [14B]	座長：小松 隆（神奈川大）
14B-1	深度画像を用いた被写界深度に基づく画像処理手法 ○佐々木知穂（東京理科大），木許雅則（日本工大），高橋智博・古川利博（東京理科大）		
14B-2	再帰計算型超解像の性能比較 ○合志清一（工学院大）		
14B-3	RGB-D カメラ映像の時空間相関を用いた距離画像の空間解像度向上 ○土屋敦彦・杉村大輔・浜本隆之（東京理科大）		
14B-4	不要な3次元情報を開示しない多視点画像からのDIBRに基づく視点補間 ○福井健太（東京理科大/国立情報学研），児玉和也（国立情報学研），浜本隆之（東京理科大）		
14B-5	シームカービングを用いた画像リサイズ手法の改善 ○洞山勇介・小池 淳・和田直哉（成蹊大）		
14B-6	Image Enhancement by Unsharp Masking with Edge Detection ○Felix Martin ECKERT（Tokyo Univ. of Science/OTH-Regensburg）， Asato YONEHARA・Kazunori URUMA・Seiichiro HANGAI（Tokyo Univ. of Science）		

会場C	8/30(水) 15:00-16:20	放送方式 4 [14C]	座長：湯川 純（三菱電機）
14C-1	次世代地上放送におけるIP多重化方式の一検討 ○青木秀一・薮 拓也・竹内知明（NHK）		
14C-2	地上デジタル放送における階層伝送方式の比較 ～ FDM/TDM/LDM の理論解析とシミュレーション評価 ～ ○大内幹博・木村知弘（パナソニック）		
14C-3	次世代地上放送の暫定仕様に向けたTMCC信号伝送方式の一検討 ○宮坂宏明・佐藤明彦・朝倉慎悟・薮 拓也・白井規之（NHK），成清善一（NHK名古屋）， 竹内知明・中村円香・村山研一・岡野正寛・土田健一（NHK）		
14C-4	次世代地上放送モバイルサービスにおける放送通信連携の検討と試作 ○河村侑輝・大槻一博（NHK）		

会場D	8/30(水) 15:00-16:20	スポーツ情報処理 2 [14D]	座長：鹿喰善明（明治大）
14D-1	2.5次元マルチモーションを用いたアルティメットの解析 ○盛岡寛史（NHK），角田 真（日体大），三ッ峰秀樹（NHK）		
14D-2	逐次学習を利用したカーリング競技でのストーン軌跡表示 ○高橋正樹・横澤真介・三ッ峰秀樹・三科智之・松久泰之・村松佐和子（NHK）		
14D-3	カーリング競技におけるストーン位置検出システムの構築と評価 ○徳永徹郎・外村喜秀・島村 潤（NTT）		
14D-4	姿勢情報を用いた自転車選手識別の基礎検討 ○高木政徳・石川孝明・渡辺 裕（早大）		

8月31日(木) 1限目

会場A	8/31(木) 9:00-10:20	【特別企画2】SET 特別講演（予稿なし）	司会：菅原正幸（NEC）
S2-1 Switch Off in Brazil - A current overview Eng. Sergio Eduardo Di Santoro Bruzetti S2-2 SET - Group of Studies IP: Goals and Activities Mr. Jose Antonio S. Garcia We are at the beginning of a new technological evolution: the migration of a studio infrastructure from SDI to IP, and HD signals to 4K / UHD. From the outset it is important to become familiar with these technologies, so that you can make the right decisions when it comes to adopting them. With this in mind, SET has decided to create the IP Studies Group, which aims to evaluate how manufacturers are dealing with this evolution. This subject will also be the subject of panels during SETExpo 2017. S2-3 How to face Live Production Changes over IP Mr. Antonio Leonel da Luz This is a moment of changes. The transition from HDTV to 4K, SDR to HDR and SDI to IP has haunted a lot of people. Migration strategies and future growth are popping up along with new standards. Different architectures and workflows are being proposed. New and old players are positioning themselves. What will happen to live production? What does SMPTE 2022/2110 and NDI offer us? How to manage and control this system? Which topology is appropriate?			

会場B	8/31(木) 09:00-10:20	画像符号化関連 1 [21B]	座長：岩村俊輔（NHK）
21B-1	直積量子化を用いたテンプレートマッチングの高速化と動き補償予測への応用 ○藤田 挑・石川知一・亀田裕介・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）		
21B-2	ブロックアクティビティに基づく回転テンプレートマッチング予測の高速化 ○澤田真幸・八島由幸（千葉工大）		
21B-3	畳み込みニューラルネットワークを用いた HEVC ブロック分割高速化の検討 ○折橋翔太・工藤 忍・北原正樹・清水 淳（NTT）		
21B-4	画素毎とブロック毎の動き補償予測を併用した RGB4:4:4 カラー動画の可逆符号化 ○山路康平・安藤諒佑・亀田裕介・石川知一・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）		

会場C	8/31(木) 09:00-10:20	CG1 [21C]	座長：張 英夏（東京都市大）
21C-1	SPH 法に基づく血液の乾燥過程の表現モデル ○熊本玲大・森谷友昭（東京電機大）、高橋時市郎（東京電機大/アストロデザイン）		
21C-2	3D オートマトンを用いた鉄の腐蝕による形状変化シミュレーション手法 ○鈴木雄太・森谷友昭（東京電機大）、高橋時市郎（東京電機大/アストロデザイン）		
21C-3	フランスにおける文化的背景と映像解釈における考察 ○星野浩司（九産大）、中川千恵子・Michaut Thomas・Marion Frugier（Sorbonne - Universites ParisIV）		
21C-4	透明感に関する音と CG の相互作用のモデル化 ○中村 巧・鈴木健弘・平井経太・堀内隆彦（千葉大）		

会場E	8/31(木) 09:00-10:20	無線・光伝送 1 [21E]	座長：武居裕之（日立国際電気） 宮下 敦（日立国際電気）
21E-1	映像水中光伝送システム用光送信機に関する検討 ○高野真樹（工学院大）、原島一彰、前田幹夫（工学院大）		
21E-2	高速移動体からの 5.7GHz 無線伝送 ○敷地辰也・矢島 武・茂木智広・相田大介・黒柳伸之（日立国際八木ソリューションズ）		
21E-3	地上デジタル放送波の周波数安定度の測定 ○沢井淳志・山本 隼・都竹愛一郎（名城大）		
21E-4	地上デジタル放送波に同期した周波数源の作製 ○山本 隼・沢井淳志・都竹愛一郎（名城大）		

8月31日(木) 2 日目

会場A	8/31(木) 10:40-12:00	【特別企画 3】KIBME 招待講演	司会：浦野丈治（日本テレビ）
S3-1 Korea UHD TV, The Present and Future Yongwoo Shin (Director, MBC Engineering Research Center)			

会場B	8/31(木) 10:40-12:00	画像符号化関連 2 [22B]	座長：高橋智博（東京理科大）
22B-1	画素毎とブロック毎の動き検出に基づいた両方向予測の検討 ○堀浩史郎・亀田裕介・石川知一・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）		
22B-2	2 マルチクラス K-SVD 画像圧縮におけるスパース係数のエントロピー符号化 ○王 冀・八島由幸（千葉工大）		
22B-3	深層学習による変換行列予測を用いたフレーム補間 ○神保 悟・王 冀・八島由幸（千葉工大）		
22B-4	HDR における量子化制御の検討 ○岩村俊輔・根本慎平・市ヶ谷敦郎（NHK）、Matteo Naccari（英国放送協会）		

会場C	8/31(木) 10:40-12:00	CG2 [22C]	座長：森谷友昭（東京電機大）
22C-1	立方体ガラスの複数面上に映る反射映像の表現手法 ○赤坂 終・張 英夏・向井信彦（東京都市大）		
22C-2	ディスプレイスメントマッピングを目的とした点群データからの表面形状の抽出 ○大坪真之・村木祐太・西尾孝治・小堀研一（大阪工大）		
22C-3	重心を用いた点群データの特徴点抽出に関する研究 ○吉野利視・村木祐太・西尾孝治・小堀研一（大阪工大）		
22C-4	豪雨時における乗用車のフロントガラスのリアルタイム表示 ○田中直幸・田中敏光・佐川雄二（名城大）		

会場D	8/31(木) 10:40-12:00	放送現業 1 [22D]	座長：春日康志（テレビ朝日）
22D-1	MPEG-DASH を用いた多視点映像ストリーミング方式の検討 ○関口頌一朗・池谷健佑・黒住正顕・西村 敏（NHK）		
22D-2	バーチャルスタジオにおけるインタラクションのための振動フィードバック法の評価 ○小林大悌・八木伸行（東京都市大）		
22D-3	槍ヶ岳 4K カメラ無線伝送システムの開発 ○村尾説彦（NHK アイテック）、宮川 誠（テレビ松本ケーブルビジョン）、森 明巳・天野裕治（NHK アイテック）		
22D-4	SHV 衛星伝送車の開発 ～ 8K-UHDTV 信号の衛星伝送 ～ ○花谷俊広・山田康一・宮本雄貴・吉井保貴・阿部真由美・瀧澤和史（NHK）		

会場E	8/31(木) 10:40-12:00	無線・光伝送 2 [22E]	座長：鈴木英樹（日立国際電気） 乙坂 修（日立国際電気）
22E-1	10G-EPON 技術を活用した放送型ベースバンド伝送装置の試作 ○倉掛卓也・楠 知也・袴田佳孝（NHK）		
22E-2	SCM 信号と 10Gbps ベースバンド信号の FTTH 共存伝送条件の検討 ○楠 知也・袴田佳孝・倉掛卓也（NHK）		
22E-3	MIMO-OFDM 伝送における SVD を用いた ICI キャンセラに関する研究 ○熊谷 誠・中村 聡・伊丹 誠（東京理科大）		
22E-4	MU-MIMO における格子基底縮小を用いた受信特性改善方式 ○岩上昌貴・中村 聡・伊丹 誠（東京理科大）		

8月31日(木) 3 限目

会場A	8/31(木) 13:00-14:40	【特別企画 4】フェロー記念講演会（予稿なし）
映像情報メディア学会には、テレビジョンを含む映像情報メディアに関する学術および産業分野の発展・普及・振興あるいは本学会事業の発展に対して、特に貢献が顕著と認められる会員に高い尊敬と深い感謝の意を表するための制度として、フェロー会員の認定制度があります。年次大会特別企画 4 では、新たにフェローの称号が贈呈されましたお二方を講師としてお招きし、映像情報メディア技術の発展に寄与した業績をご講演いただきます。 司会 伊丹 誠（東京理科大） 13:00～13:50 S4-1 無線素材伝送のデジタル化に関わって 伊藤泰宏 氏（NHK エンジニアリングシステム 開発企画部 技術主幹） 1990 年代後半は、2000 年 12 月 1 日の衛星デジタル放送開始に向け、HDTV 無線素材伝送装置、いわゆる「ハイビジョンの飛び道具」の開発・実用化が急務だった。伝送装置の研究開発が進められると共に、1996 年 7 月に設立された ARIB の素材伝送開発部会および 1999 年 11 月に諮問を受けた電界通信技術審議会（現情報通信審議会）番組中継用デジタル回線委員会での審議を経て、衛星デジタル放送開始直前の 2000 年 10 月に ARIB STD-B11 2.0 版が規格化された。2018 年 12 月の 4K・8K 本放送開始を 1 年余り後に控え、「4K・8K の飛び道具」の早期実現に期待を寄せつつ、20 年前にどのような形で HDTV 無線素材伝送装置の開発・実用化が進められたかを振り返る。 13:50～14:40 S4-2 コンピュータグラフィックスによる映像表現技術 新谷幹夫 氏（東邦大学）		

会場D	8/31(木) 13:20-14:40	放送現業 2 [23D]	座長：小島敏裕（フジテレビ）
23D-1	金属塩析出型調光素子の応答特性改善 ○宮川和典・菊地幸大・安江俊夫・島本 洋（NHK）、持塚多久男・牧田政雄（村上開明堂）		
23D-2	AMWA IS-04 を利用した番組制作設備共有機能の実装 ○小山智史・川本潤一郎・小田周平・倉掛卓也（NHK）		
23D-3	取材映像の書き起こしインタフェースの開発 ○三島 剛・一木麻乃・萩原愛子・伊藤 均・佐藤庄衛（NHK）、小林彰夫（NHK-ES）		
23D-4	音声認識技術と作業負荷分散手法をベースとしたリアルタイム字幕制作システムの開発 ○養毛雄吾・藤原将展・堀内淳志（日本テレビ）		

会場 E	8/31(木) 13:00-14:40	無線・光伝送 3 [23E]	座長：吉村智文（日立国際電気） 保谷文男（日立国際電気） 武居裕之（日立国際電気）
23E-1	中波放送波強度の金冠日食と日没日出特性の比較 ○深見哲男（石川高専）、長野 勇（小松短大）、東 亮一（石川高専）		
23E-2	UHF テレビ放送波の異常伝搬と大気の大気条件との関連に関する研究 ○東 亮一・深見哲男（石川高専）		
23E-3	Class A 雑音環境下におけるスキャッタードパイロットシンボルを用いた伝送路推定に関する研究 ○小倉圭介・中村 聡・伊丹 誠（東京理科大）		
23E-4	超高速データ伝送装置「SDI-Hyper」の開発 ～ HD 回線で SNG、4K、ファイルの運用が可能 ～ ○吉村理希・岩尾洋英・金森健彦（フジテレビ）		
23E-5	ASI 回線を利用した高速ファイル伝送プロトコル ○栗山和久（関西テレビ）		

8月31日(木) 4限目

1 階 101 教室	8/31(木) 15:00-17:40	【公開講演会】映像情報メディアと情報セキュリティ(聴講無料・一般公開)	
コンテンツ制作のファイル化や OTT サービスの進展など、映像情報メディアの I T 化は新たな展開を迎えている。また、IoT の発展などにより、これまでになかったモノとつながることにより新たな価値やサービスが生み出されつつある。 一方、これらのシステムがネットワーク化されることにより、様々な脅威にさらされることになり、映像情報メディアも無縁ではない。映像情報メディアのより安全で快適な利活用を進めていくために必要なことを情報セキュリティの観点から各分野の第一線の方々にかがいが、幅広く考える場を提供する。 【予稿集は当日会場で配布いたします。】 司会 神田菊文 (NHK) 15:00～15:40 (1) サイバー攻撃防御における情報共有の価値 熱海 徹 氏 (NHK 情報システム局／ICT-ISAC-JAPAN 事務局次長) 攻撃を実施しようとする者や攻撃手法の開発は今後も残念ながら収まることはないと思っています。攻撃手法そのものの把握や対応に加え攻撃者がなぜ攻撃を行うのか、「攻撃の意図」を可能な限り把握する。さらに様々なセキュリティ機関と攻撃そのものだけでなく、つかんだ予兆など様々な情報共有することにより、対応速度を上げる必要があります。情報が相互に交換されている組織やグループは、既に国内に存在していますが、其の殆どは個人対個人で醸成された信頼感をベースとしたものです。個人とコミッティとの信頼感をどのように組織対組織に広げていけるか、今後のサイバー攻撃への対応において決定的に重要になると考えます。 15:40～16:20 (2) IoT 機器の脆弱性を狙うサイバー攻撃の脅威と対策 吉岡克成 氏 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院/先端科学高等研究院 准教授) 本講演では、ネットワークの受動的観測、および、能動的観測により認識可能な IoT 機器の脆弱性やマルウェア感染状況について述べる。特に数年前から続いている IoT 機器の大量マルウェア感染の最新状況や、感染機器を悪用した大規模サービス妨害攻撃について説明する。また、感染機器からのマルウェア駆除手法に関する検討結果についても述べる。 16:20～17:00 (3) ISP におけるサイバー攻撃の実体と対策 齋藤 衛 氏 (㈱インターネットイニシアティブ セキュリティ本部長 (兼 セキュリティ情報統括室長)) サイバー攻撃の一種であり、インターネットに接続した物はすべて攻撃対象となる可能性のある、DDoS 攻撃について解説します。事例をもとに IoT bot など最近の傾向について紹介し、攻撃への対応上に課題について議論を行います。 17:00～17:40 (4) 東京 2020 大会のテクノロジーとサイバーセキュリティ 大山洋平 氏 (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テクノロジーサービス局 サイバーセキュリティ部 課長) 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会ではテクノロジーを活用したスポーツの新しい見方・見せ方をすることで、ファンやアスリートにとっての興奮や参加感を向上させ、ショーとしてのスポーツイベントの魅力を高めたいと考えます。 一方で、大会運営を支えるテクノロジーは年々複雑化しており、かつスポーツテクノロジーのような新しいテクノロジーを導入することによるリスクも考慮する必要があります。"IT の活用"と"サイバーセキュリティ"のバランスをとる必要があると考えます。			

9月1日(金) 1 限目

会場A	9/1(金) 09:10-10:10	情報センシング 1 [31A]	座長：大竹 浩 (NHK)
31A-1	NIR フラッシュ制御を伴う RGB-NIR 単板撮像による低照度カラー画像の画質改善 ○本田崇幸・杉村大輔・浜本隆之 (東京理科大)		
31A-2	可視及び近赤外撮像による次世代高速眼底カメラの検討 ○宮崎駿佑・竹原浩成 (奈良先端大), 角 博文 (奈良先端大/東大), 笹川清隆・春田牧人・野田俊彦・徳田 崇・太田 淳 (奈良先端大),		
31A-3	A Dual Color CMOS Image Sensor for <i>In-Vivo</i> FRET Imaging ○Wan Shen Hee・Makito Haruta・Toshihiko Noda・Kiyotaka Sasagawa・Takashi Tokuda・Jun Ohta (Nara Inst. of Science and Technology)		

会場B	9/1(金) 09:00-10:20	メディア処理 応用 1 [31B]	座長：宮崎太郎 (NHK)
31B-1	言語特徴に基づくニュース記事分布の視覚化手法 ○住吉英樹・三浦菊佳 (NHK)		
31B-2	視線検出による効率的な短期記憶評価法の提案 ○岡本健志・鈴木玄貴・山本昇志 (都立産業技術高専)		
31B-3	ステレオから 22.2ch 音響へのアップミックスアルゴリズムの検討 ○佐々木陽・小森智康 (NHK), 西口敏行 (NHK-ES)		
31B-4	正規化相関を用いた瞬目動作における個人特徴量の抽出 ○中島正人・鈴木玄貴・山本昇志 (都立産業技術高専)		

会場C	9/1(金) 09:20-10:20	ディスプレイ 1 [31C]	座長：馬場雅裕 (東芝)
31C-1	酸化亜鉛を用いた薄膜トランジスタの特性改善 ○辻 博史・武井達哉・中田 充・宮川幹司・藤崎好英・山本敏裕 (NHK)		
31C-2	2 μ m 画素ピッチ・スピン注入型空間光変調器の多素子化と低電流駆動技術 ○船橋信彦・金城秀和・青島賢一・麻生慎太郎・加藤大典・薄井武順・久我 淳・三科智之 (NHK), 石橋隆幸 (長岡技術科大), 町田賢司・菊池 宏 (NHK)		
31C-3	高コントラスト反射型ディスプレイ用のねじれ垂直配向液晶デバイスの高速度化 ○久下湧太郎・柴田陽生・石鍋隆宏・藤掛英夫 (東北大)		

会場D	9/1(金) 09:20-10:20	ヒューマンインフォメーション 1 [31D]	座長：清水俊宏 (NHK)
31D-1	標準刺激の奥行きが立体視空間の歪みに与える影響 ○小林秀明 (神奈川大)		
31D-2	小球面での光源の反射像を利用した注視点検出用光学系と PC 画面との相対位置自動推定法 ○福元清剛・元木秀俊・海老澤嘉伸 (静岡大)		
31D-3	遠隔ビデオ式注視点検出における登録ユーザ較正値の自動選択のための瞳孔形状歪に基づくユーザ判別の試み ○彦坂俊秀・福元清剛・根本泰輔・海老澤嘉伸 (静岡大)		

会場E	9/1(金) 09:00-10:20	無線・光伝送 4 [31E]	座長：武居裕之 (日立国際電気)
31E-1	次世代移動中継用 FPU に向けた適応送信制御 4 $\times$ 4TDD-SVD-MIMO システムの試作 ○光山和彦・伊藤史人・鶴澤史貴・居相直彦 (NHK)		
31E-2	次世代移動中継用 FPU に向けた適応送信制御 4 $\times$ 4TDD-SVD-MIMO システムの野外伝送実験 ○居相直彦・光山和彦・鶴澤史貴・伊藤史人 (NHK)		
31E-3	ブリアンブルにおける受信電力判定を用いた周波数センシング方式の検討 ○須藤浩章・小坂和裕・金本英樹・下条則之・安永 毅・上杉 充 (パナソニック)		
31E-4	映像切替方法が符号化処理に与える一考察 ～ 動きベクトル検出の精度向上 ～ ○藤倉幹夫・宮下 敦・鈴木英樹・石川恭啓 (日立国際電気)		

9月1日(金) 2 限目

会場A	9/1(金) 10:20-12:00	【特別企画 5】ここまで来た撮像デバイス！ 超高精細, 超高感度, 超高速
撮像デバイスは、小型化と多画素化を中心に進展してきたが、感度、速度性能も飛躍的に向上してきている。本セッションでは、精細度、感度、速度についてそれぞれ最先端のデバイス技術を講演と機材デモ、映像などの展示を行い、センシングデバイスの進化を紹介する		
司会 大竹 浩 (NHK) 講演 1 件 30 分を予定		
S5-1 超高精細イメージセンサの開発動向 (予稿なし) 小林昌弘 氏 (キヤノン株)		

S5-2	高速 CMOS イメージセンサ技術の歩み 須川成利 氏・鈴木 学 氏・鈴木 将 氏・黒田理人 氏（東北大学）
	2011 年に最初の報告をした高速 CMOS イメージセンサ技術の今日までの進化と今後の展開について論じる。
S5-3	超高感度撮像デバイスの開発動向（予稿なし） 大竹 浩（NHK 放送技術研究所）
デモ展示	①250M カメラ キヤノン㈱ ②超高速カメラ 東北大学

会場 B	9/1(金) 10:40-12:00	メディア処理 応用 2 [32B]	座長：松崎康平（KDDI 総合研）
32B-1	ニュース制作のための有用 tweet 提示システム ○宮崎太郎・牧野仁宣・武井友香・三浦菊佳・住吉英樹・山田一郎・後藤 淳（NHK）		
32B-2	デジタルペンとドットスクリーンを用いた三次元物体筆記による会議システムの検討 ○石橋卓也・石原聖司（東京電機大）、岩田英三郎（ユニバーサルロボット）、鈴木和雄（大日本印刷）、長谷川誠（東京電機大）		
32B-3	ブロックチェーン活用コンテンツ権利管理システムにおけるフィンガープリント登録方式の実装 ○中平 篤・松田宏朗・藤村 滋・大橋盛徳・渡邊大喜（NTT）		
32B-4	テレビ視聴ロボットにおける字幕文内キーワードに基づく発話生成手法 ○金子 豊・星 祐太・上原道宏（NHK）		

会場 C	9/1(金) 10:40-11:40	ディスプレイ 2 [32C]	座長：馬場雅裕（東芝）
32C-1	ZnS-AgInS ₂ を用いた低毒性量子ドット EL 素子の作製 ○本村玄一・都築俊満（NHK）、亀山達矢・鳥本 司（名大）、上松太郎・桑畑 進（阪大）、山本敏裕（NHK）		
32C-2	高効率・高色純度な緑色 OLED の開発 ○大野 拓・岩崎有希子・清水貴久・深川弘彦（NHK）		
32C-3	電子書籍の読み取りと聴き取りを併用した場合の内容理解 ○磯野春雄・矢口博之・小此木郁哉・熊井崇人（東京電機大）		

会場 D	9/1(金) 10:40-12:00	ヒューマンインフォメーション 2 [32D]	座長：山内結子（NHK）
32D-1	VR システムにおけるヘッドセットの最適視聴環境に関する考察 ○金 相賢・宋 香邑・陳 均欣・河合隆史（早大）		
32D-2	眼球運動特性からみた心的イメージ鮮明度の定量化 ○堀田健仁・今淵貴志・プリマ オキ ディッキ アルディアンシャー・伊藤久祥（岩手県立大）、松岡和生（岩手大）、宮内 哲（情通機構）		
32D-3	映像表示方法が身体に与える影響 ～ 基礎実験結果の検討 ～ ○田畑恒平（京産大）、伊藤 敏（岐阜聖徳学園大）		
32D-4	皮膚への振動刺激による方向提示手法の提案 ○近藤 悟・渡辺哲也・東真希子・半田拓也・清水俊宏（NHK）		

会場 E	9/1(金) 10:40-12:00	無線・光伝送 5 [32E]	座長：鈴木英樹（日立国際電気） 石井光昭（日立国際電気）
32E-1	マイクロ波帯 4K・8K 用 FPU の開発 ○村瀬健治・鴨田浩和（NHK）、澁谷一彦（NHK-ES）、居相直彦・濱住啓之（NHK）		
32E-2	双方向の無線 IP 伝送を実現するスマート FPU の開発 ○鶴澤史貴・小山智史・光山和彦（NHK）、青木勝典（NHK-ES）、居相直彦・濱住啓之（NHK）		
32E-3	42GHz 帯 8K-FPU 用カセグレンアンテナの開発 ○鴨田浩和・津持 純・今村浩一郎・濱住啓之（NHK）		
32E-4	ミリ波ワイヤレスカメラ用イーサネット IF 伝送システムの基礎検討 ○青木勝典（NHK-ES）、今村浩一郎・濱住啓之（NHK）		

9月1日(金) 3限目

会場A	9/1(金) 13:00-14:40	センシング2 [33A]	座長：大竹 浩 (NHK)
33A-1	8K スーパーハイビジョン技術を用いた新しい内視鏡手術システムの開発 ○山崎順一・伊藤崇之・金次保明 (NHK-ES), 金光幸秀・塚本俊輔 (がん研究センター), 黒田宏之・谷沢信吉・内村澄洋・加藤貴之・仁井田巧一 (オリンパス)		
33A-2	生体埋植用ニードル型 ADC 搭載 CMOS イメージセンサのノイズ特性評価 ○藤本光輝・笹川清隆・太田安美・春田牧人・野田俊彦・徳田 崇・太田 淳 (奈良先端大)		
33A-3	CMOS テラヘルツイメージング用オンチップアンテナの小型化 ○平松正太・ナ ソクジン・横山紗由里・池辺将之・佐野栄一 (北大)		
33A-4	デジタル ELISA 法へ向けたレンズレスオンチップ蛍光計測システムによる蛍光観察評価 ○池田斉仁・竹原浩成・笹川清隆・春田牧人・野田俊彦・徳田 崇・太田 淳 (奈良先端大)		
33A-5	インターライン走査による 8K 120Hz 単板カメラシステムの開発 ○中村友洋・山崎貴弘・船津良平・島本 洋 (NHK)		

会場B	9/1(金) 13:00-14:40	コンピュータビジョン [33B]	座長：根岸博康 (三菱電機)
33B-1	コート上の直線検出とそのフレーム間対応に基づくバスケットボール解析のためのカメラ姿勢推定 ○安田航也・田川憲男・何 宜欣・大坪修二 (首都大)		
33B-2	単一画像からの深度推定と幾何学的制約を利用した寸法推定 ○柳瀬直人 (東京理科大), 村崎和彦 (東京理科大/NTT), 島田 裕・谷口行信 (東京理科大)		
33B-3	3 次元点群を用いた類似検索に基づく自己位置推定手法 ○松崎康平・柳原広昌 (KDDI 総合研)		
33B-4	Object Segmentation and Classification of Point Cloud ○Kanokphan LERTNIPHONPHAN・Satoshi KOMORITA・Kazuyuki TASAKA・Hiromasa YANAGIHARA (KDDI Research)		
33B-5	ステレオ全天球カメラからの距離計測の基礎検討 ○青木貴大・松田卓也 (早大), 原 潤一 (リコー), 渡辺 裕 (早大)		

会場C	9/1(金) 13:00-17:10	【特別企画 6】IoT 時代を先取る日本のエレクトロニクス産業の復活に向けて ～センサ技術を中心として～
IoT (Internet of Things)はや今や日本の情報通信・エレクトロニクス産業のこれからを牽引する新パラダイムとして位置づけられ、その実現に向けて産官学あげての取り組みが展開されている。 AV 機器をはじめとする情報通信技術のデジタル化は未曾有の便益をもたらした一方、日本が得意とした「刷りあわせ」技術を不要とする製品アーキテクチャーの本質により、日本の半導体をはじめとするエレクトロニクス産業は壊滅的な打撃を受けた。 その逆境の中でも日本のエレクトロニクスは製造設備や材料・デバイス分野で存在感を発揮し、特にセンサ技術とりわけイメージセンサをはじめとするオプトエレクトロニクス分野では、世界のトップランナーとして世界を牽引している。 本シンポジウムでは、「IoT」時代を先取る、日本のエレクトロニクス産業の復活に向けた取り組みと課題を討論する。		
13:00～13:05 開会挨拶 樺沢 哲 アントレ研委員長 (大阪大学)		
基調講演 司会 倉重光宏 (高知工大)		
13:05～14:00		
S6-1 IoT の全貌と映像情報メディアへの期待 (予稿なし)		
尾木蔵人 氏 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)		
14:00～14:55		
S6-2 IOT がもたらす半導体業界へのインパクト		
石綿 宏 (エーエスエムエル ジャパン)		
IOT はオートメーション等で生産効率を向上させた第3次産業革命に続く第4次産業革命を起こすと言われている。全てのものがネットに繋がり、そのデータが人工知能などで解析され社会にフィードバックされる世界では、新たなビジネスチャンスが出てくると同時に大きく社会構造を変える可能性もある。特に、製品供給型から課題解決型への転換はビジネスのやり方そのものにも大きな影響を与えると思われる。このセッションでは半導体業界に与えるインパクトを3つの視点、1) デバイスの需要、2) 製造への変化、3) ビジネスモデルの変化から考えてみた。それぞれの視点からの変化と対応策を論じる中で、日本の産業を更に活気づけるヒントを掴んでいただければ幸いです。		
14:55～15:05 休憩		
招待講演 司会 石綿 宏 (エーエスエムエル ジャパン)		
15:05～15:45		
S6-3 Time of Flight 方式距離画像センサの進化とセンシング/IoT への応用展開の可能性		
難波和秀 氏 (ソニー)		
ソニーの CMOS イメージセンサの変遷を述べ、2D+測距による 3D センシング実現のための距離画像センサの進化の一例として、裏面照射型 Time of Flight 方式距離画像センサの開発(https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/201706/17-059)とセンシング/IoT への応用展開の可能性を紹介する。		

15:45～16:25

S6-4 センサネットワークをIoT時代にどう生かすか? ～ IoT 実現に重要な3つの動向紹介 ～
大森 正 氏 (パナソニック)

16:25～17:05

S6-5 センサ技術が拓くIoT時代
長畑隆也 氏 (ローム)

IoT テクノロジーは、新しい価値を創造するためのテクノロジーとして様々な産業のたくさんの要望、要求を受け取り、多くのソリューションが提案されている。状況、環境分析のためにすべてもしくは部分的にでもデータを収集する技術及びノウハウを積み重ね、便利さを改善するか、早く異常を発見するか、それらを防止するか、または自動制御を実行等のために適用されていく事が望まれている。一般的にデータ分析とAIを使うサービス開発を中心に、IoT市場は考察されるけれども、データ収集は、このIoTテクノロジーをサポートしている基礎である。この中で取得されるデータの特徴は、どのようにデータが使われようとしているかによって大きく変わり、その為多様化する。ROHMはセンサーやAFE(アナログフロントエンド)、超省エネマイクロコントローラ、無線モジュールなどを通して、IoT市場成長に貢献していこうと考えており、センシングと通信を高いレベルで融合し、アプリケーションとシステムのために最適化されたアルゴリズムによってセンサソリューションを開発している。
今回はIoT、特にマシンヘルス市場において、どのようなセンシング機能が模索され、実用化されているのかを通して、IoT事業化の面白さを伝えていく。

17:05～17:10 閉会挨拶 山田一人 アントレ研幹事長(法政大学)

会場D	9/1(金) 13:00-14:40	ヒューマンインフォメーション3 [33D]	座長：近藤 悟 (NHK)
33D-1	13:00-13:40 【招待講演】音声処理による視覚障害者支援技術 ○今井 篤 (NHK)	斜め読みならぬ“斜め聞き”技術を紹介する。音声は時系列情報であるため、斜め読みのような効率的な聞き方が難しく、視覚障害者支援技術の一つの課題となっている。アルゴリズムは至ってシンプルで、声が高くかつ大きい部分ほどゆっくり再生し、逆は速めるというものである。斜め読みの際に意図的に読み飛ばすと同様、速める部分を大胆に削除してしまうという再生方法も可能である。本手法には、聞き取りに大切そうな部分を自動推定したいという意図があり、日本語の特徴やアナウンサーの話し方を考え方として取り入れた。聴取実験の結果、話速を一律に速める従来法に比べて大幅に聞き取りが改善することが確認された。	
33D-2	スポーツ中継におけるバリアフリー放送サービスのための音声ガイド技術の検討 ○一木麻乃・清水俊宏・今井 篤 (NHK)、都木 徹 (NHK-ES)、栗原 清・宮崎太郎・田高礼子・熊野 正・山田一郎・佐藤庄衛・清山信正・山内結子・住吉英樹 (NHK)		
33D-3	高齢者向け緊急災害情報の音声合成品質の検討 ○三輪田悠介 (日本ケーブルラボ)、西澤信行・滝嶋康弘 (KDDI 総合研)、長尾康之 (日本ケーブルラボ)		
33D-4	気象情報手話 CG サイトの公開 ○東真希子・山内結子・住吉英樹・内田 翼・宮崎太郎・梅田修一・加藤直人 (NHK)、比留間伸行 (NHK-ES)		

会場E	9/1(金) 13:00-14:40	放送現業3 [33E]	座長：三木圭輔 (TBS テレビ)
33E-1	8K240fps 圧縮記録実験装置の開発 ○菊地幸大・梶山岳士・小倉 溪・山崎貴弘・安江俊夫・船津良平・宮下英一・島本 洋 (NHK)		
33E-2	8K240fps モノクロ撮像実験装置の開発 ○山崎貴弘・安江俊夫・船津良平・小倉 溪・菊地幸大・梶山岳士・宮下英一・島本 洋 (NHK)		
33E-3	フルスペック 8K SHV 対応ライブスイッチャーの開発 ○米内 淳 (NHK-ES)、小出大一・原 直弘・荒井敦志・林田哲哉・瀧口吉郎 (NHK)		
33E-4	8K/120Hz 対応スーパーハイビジョン編集システムの開発 ○林田哲哉・小出大一 (NHK)、米内 淳 (NHK-ES)、原 直弘・荒井敦志・瀧口吉郎 (NHK)		
33E-5	HQX 圧縮技術による 8K ワークフローと編集環境の改善 ○金村達宣 (アストロデザイン)		

9月1日(金) 4限目

会場A	9/1(金) 15:00-16:40	【特別企画7】論文・国際学会 Accept への道 ～ レビューへの対応例 ～
論文の採録や国際学会での採択は、研究者としての目標あるいはひとつの節目となる。それを勝ち取るまでには、不採録となった論文の修正や照会事項への対応などのプロセスを経るケースが多いが、各研究者が蓄積したその「ノウハウ」がオープンになるケースはほとんどない。そこで今回は、昨年および今年に国内英文論文誌、国際学会、海外英文論文誌のそれぞれに採録および採択された3人のメディア工学研究者を講演者として迎え、その研究内容とともに「Accept」へのプロセスについてご講演いただく。本セッションが、学生の方々や若手研究者の論文執筆に対するモチベーション向上に繋がれば幸いである。		
司会 望月貴裕 (NHK) 1件 30分		

S7-1 Visual-Based and Object-Conscious Image Retrieval by Block Reallocation into Object Region

(2016 年に電気学会英文論文誌に掲載)

望月 貴裕 (NHK)

放送局には大量の映像がアーカイブスデータとして蓄積されている。それらは番組制作のための素材や参考資料としての「宝の山」であり、有効に活用するための検索技術が強く望まれている。検索手段としては、手動あるいは自動付与したテキストメタデータを利用したキーワード検索が一般的だが、付与できるメタデータの種類と量には限りがある。そこで我々は、テキストメタデータを必要としない、画像同士の比較による「類似画像検索」の研究を進めてきた。本論文は、画像のレイアウトの類似性を維持しながら被写体領域の類似性にも重きを置いた新しい類似画像検索手法に関する内容である。本講演では、この論文の内容を紹介するとともに、不採択となった際の修正点や、再投稿時の照会内容への対応について述べる。

S7-2 国際会議発表への道 ～ICIP 2017 採択までの経験を踏まえて～

Community Detection using Random-Walk Similarity and Application to Image Clustering (ICIP2017 に Accept)

奥田 誠 氏 (NICT/NHK)

本講演では、はじめに筆者らが研究を進める観光サポートを想定した画像解析技術の概要を紹介する。開発した手法を用いれば、インターネットから収集した雑多な観光地画像を、建造物や仏像などの被写体毎に高精度にクラスタリングすることが可能となる。次に、本研究のテーマ設定時から ICIP 2017 で採択されるまでの軌跡を、査読者のコメントへの対応事項を中心に、失敗談も交えながら紹介する。最後に、これらの経験を踏まえ、筆者が考える効果的な研究の進め方や論文執筆時の要点を述べる。

S7-3 L₀ gradient projection (2017 年に IEEE Transactions on Image Processing に掲載)

小野峻佑 氏 (東工大/JST さきがけ)

2017 年に画像処理の国際論文誌 IEEE Transactions on Image Processing に掲載された論文を題材に、レビューへの対応等を解説する。

会場 B	9/1(金) 15:00-16:20	計測技術・映像表現 [34B]	座長：磯貝 愛 (NTT)
34B-1	骨格追跡による姿勢教示システムに関する基礎検討 ○平野寿宗・田村 徹 (東京工芸大)		
34B-2	リアルタイム CG で作成した「シャッターカム」について ○香月 翔・太田佳彦・田尾温子 (テレビ東京)		
34B-3	V-SLAM とマーカ AR を併用したペン型デバイスによる空中描画システム ○小林大起・石川孝明・渡辺 裕 (早大)		
34B-4	テレビ視聴ロボットに搭載したカメラとマイクロフォンアレイを用いたテレビ及び人の方向検出手法 ○星 祐太・金子 豊・上原道宏 (NHK)		

会場 C	9/1(金) 13:00-17:10	【特別企画 6】IoT 時代を先取る日本のエレクトロニクス産業の復活に向けて ～センサ技術を中心として～
詳細は p.14 をご覧下さい。		

会場 D	9/1(金) 15:00-16:40	立体映像技術 [34D]	座長：圓道知博 (長岡技科大)
34D-1	並列型インテグラル立体ディスプレイの性能改善 ○岡市直人・渡邊隼人・佐々木久幸・河北真宏・三科智之 (NHK)		
34D-2	多視点ロボットカメラを用いたインテグラル立体撮影技術 ○池谷健佑・三科智之 (NHK)		
34D-3	バイナリパターンの重みづけ和による多視点画像の表現手法 ○小松滉治・高橋桂太・藤井俊彰 (名大)		
34D-4	ロバストな視差推定のための EPI の直線構造に基づくノイズ除去 ○方便 剛・高橋桂太・藤井俊彰 (名大)		
34D-5	2D 空中像の奥行き移動知覚に関する一考察 ○井阪 建・巻口誉宗・高田英明・小野 朗 (NTT)		

会場 E	9/1(金) 15:00-16:00	放送現業 4 [34E]	座長：甲斐 創 (日本テレビ)
34E-1	超高精細映像制作における HDR 技術の活用 ～「8K で迫る驚異の大自然北米イエローストーン」HDR/WCG ロケ制作～ ○板倉孝太・野口 学・三橋政次 (NHK)		
34E-2	HDR/SDR 一体化制作カメラにおける色再現改善 ○野村光佑・安江俊夫・正岡顕一郎・日下部裕一 (NHK)		
34E-3	4K 解像度 CG の HDR・SDR 制作ワークフローの一本化に関する検討 ○堤 泰生・古川滋彦・甲斐 創 (日本テレビ)		

映像情報メディア学会
2017年年次大会実行委員会構成

委員長	伊丹 誠	副会長	(東京理科大)
幹事	神田 菊文	調査担当理事	(NHK)
〃	池田 哲臣	総務担当理事	(NHK)
〃	浦野 丈治	企画担当理事	(日本テレビ)
〃	川前 治	会計担当理事・大会会計担当主査	(日立マクセル)
〃	谷口 行信	編集担当理事	(東京理科大)
委員	大竹 浩	情報センシング研究委員会副委員長	(NHK)
〃	馬場 雅裕	情報ディスプレイ研究委員会幹事	(東 芝)
〃	竹下 伸夫	マルチメディアストレージ研究委員会幹事	(三菱電機)
〃	杉山 賢二	放送技術研究委員会委員：放送方式	(成蹊大)
〃	武居 裕之	放送技術研究委員会委員：無線光	(日立国際電気)
〃	西澤 伸一	放送技術研究委員会委員：放送現業	(フジテレビ)
〃	近藤 悟	ヒューマンインフォメーション研究委員会幹事	(NHK)
〃	望月 貴裕	メディア工学研究委員会幹事	(NHK)
〃	根岸 博康	メディア工学研究委員会委員	(三菱電機)
〃	磯貝 愛	映像表現&コンピュータグラフィックス研究委員会幹事	(NTT)
〃	石綿 宏	アントレプレナー・エンジニアリング研究委員会幹事	(エーエスエムエル ジャパン)
〃	圓道 知博	立体映像技術研究会委員会幹事	(長岡技科大)
〃	三ッ峰秀樹	スポーツ情報処理時限研究委員会幹事	(NHK)
〃	杉村 大輔	現地実行委員会委員	(東京理科大)
〃	雨車 和憲	現地実行委員会委員	(東京理科大)
〃	高橋 智博	現地実行委員会委員	(東京理科大)
〃	島田 裕	現地実行委員会委員	(東京理科大)
〃	中村 聡	現地実行委員会委員	(東京理科大)
〃	吉田 崇	現地実行委員会委員	(東京理科大)

以上25名